

令和4年度入学者選抜学力検査 一般選抜（後期日程）

経済学部：小論文 解答例・出題の意図

出題の意図

【設問一】

<問一>

高校の政治経済などで学習した需要曲線のみ移動、あるいは供給曲線のみ移動（シフト）を理解しているか否か。そしてその応用力（需要曲線と供給曲線の両者が移動する場合）についてみる問い。

問題文中の図が解答の1つになるものの、それを軸にして残る2つのケース（図以外のケース）を考えることができるか否かを受験生に問うている。受験生のもつ理解力、分析力（あるいは想像力）を確認するための問い。

<問二>

理解力、論理性、文章表現力をみる問い。理論、理屈は机上の空論、現実の経済活動、現実の世界では役に立たないと批判されることも（ときに）ある。このような批判があったとしても、なぜ私たちはいろいろな理論、理屈を学ぶのだろうか。大学の勉強でも理論、理屈を学ぶ機会が多々ある。そこで問題文を踏まえ「需要と供給の法則」を学ぶことの意義に焦点をあて、理論、理屈（ここでは需要と供給の法則）を学ぶことの必要性、その意義について、受験生が自身の言葉で論理的に、そして自身の考えを整理した文章、表現をもって解答できる力を確認したい。

【設問二】

<問一>

問題文として提示された資料を通読し、その文脈を把握する理解力・論理的思考力、資料から把握される内容を簡潔かつ適切に示すことのできる文章表現力を問うことを意図した。

<問二>

資料として問題文で説明された概念を適切に把握する理解力、その概念に照らし合わせて資料として提示された写真の特徴をつかむ分析力、その特徴を適切に文章で伝える文章表現力を問うことを意図した。

<問三>

資料として提示された問題文の内容を把握する理解力、その内容に照らして、問題文で取り扱われていない事象について考察する論理的思考力、考察の内容を適切に示す文章表現力を問うことを意図した。